



学校だより



11月号

令和5年10月31日
横浜市立善部小学校
校長 朝川 健太郎

ZSF から全校遠足へ

校長 朝川 健太郎

10月21日(土)善部スポーツフェスティバル(ZSF)が開催されました。保護者の方の入場制限も解除され、多くの方々に見守られながら、子どもたちは練習の成果を発揮し、力いっぱい演技や競技を行いました。児童、保護者、教職員が一丸となって準備してきたZSFが、子どもたちにとって、大きな成長の機会となり、また、大切な思い出の一つとなったのではないのでしょうか。

さて、今年度の演技は1・2年生が「き☆ら☆き☆ら」、3・4年生が「善部ソーラン2023」、5・6年生が「飛翔2023」と2学年合同の演技となりました。練習では、上の学年の児童が下の学年の児童にアドバイスをしたり、よいところを褒めたりと思いやりをもって接する姿が多く見られました。また、下の学年の児童もわからないことをすぐに聞ける先輩が近くにいることで、安心感をもって練習に取り組むことができていたようです。

今回のZSF開催にあたって学校が設定したねらいの一つに「学年を越えた様々な人とのふれあいを通して、自らの考えや視野を広げようとする子どもを育てる」があります。指導にあたる教員がこのめあてをしっかりと意識して練習に取り組むことで、子どもたちの成長につながったと感じています。ZSF明けの火曜日に1年生に聞いてみると、「ソーランや飛翔がすごかった」と答えている子がたくさんいました。低学年の児童にとっては高学年の演技のすばらしさを感じることで身近な目標ができます。自分たちの出番だけではなく係の仕事もしっかりと行っている高学年の様子を見ることで、高学年の責任の重さを感じます。「5・6年生ってすごい!」「あんな高学年になりたい。」と思うことで自分をより高めようとする意識が芽生え、それが、「自らの考えや視野を広げる」ことにつながるのではないのでしょうか。ZSFを全校が一堂に会して実施する意味はまさにそこにあります。



さて、11月10日(金)には全校遠足が予定されています。異学年グループ(スマイル班)の6年生が計画をし、学年の異なる仲間と助け合ったり励ましあったりしながら活動します。ZSFで培った学年を超えて自他の良さを認め合う力を全校遠足でも発揮し、さらに自分の視野を広げるような活動にしていきたいと思います。

